



●内房上総湊はフグ釣りの穴場



▼エサは持参

## 内房上総湊港出船

# 内房上総湊のフグ好調 目下の主役は ヒガンフグ

撮影◎伊井泰洋



●根掛かりを恐れず底付近を攻めることがコツ



●ほとんどの人がツ抜けした



●このサイズになると重量感タップリ



●シーズンはそろそろ追い込み



●25センチくらいがレギュラーサイズ



●カットウ仕掛けて釣る人がほとんど

### 根掛かり対策は必須



▲船長お手製の仕掛けも販売してくれる

鈴孝丸が攻めるヒガンフグのポイントは根がけっこうきつい。カットウを底から20～50センチ浮かせてアタリを待つが、それでも海底に起伏があるため根掛かりのリスクは高い。

船長の仕掛けはカットウをつなぐハリスに市販のカットウ仕掛けよりも細い7号を使い、さらにカットウバリを交換可能にしてある。また、ショウサイフグ釣りで使うPE1号巻きのリールを兼用している人は、ハリスをさらに細い3～4号にしている。

いずれも根掛かりのときはカットウバリのみを失い、オモリを助けるための工夫になる。この釣りでは道糸の強度よりカットウをつなぐハリスの強度を落とすことを覚えておきたい。

内房上総湊の鈴孝丸は、コアなファンには知られたフグ釣りの穴場的船宿。目下の狙いはヒガンフグで、港からほど近い水深4メートルほどの浅場を中心に狙ってくる。

地元の船しか狙えないポイントだから魚影は濃く、シーズンのには終盤なもの35センチ級の良型交じりでツ抜けは当たり前前の釣れっぷり。3月以降はトラフグでの出船が多くなるとのことなので、ヒガンフグを狙いたいなら早めに問い合わせよう。

(詳細は46ページ参照)



◎内房上総湊港・鈴孝丸  
鈴木 利定船長